

## 第3回佐久市文化振興推進企画委員会会議録

### 1 開催日時

日時 令和3年10月21日(木)

場所 佐久市役所議会棟 第4委員会室

### 2 出席者

委員 文化振興推進企画委員6名

事務局 文化振興課長、文化振興係長、文化振興係2名

### 3 会議事項

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

#### 3 会議事項

(1) 令和3年度 事業の中間報告について【資料1】

(2) 令和4年度 事業計画について【資料2】

(3) アーティストバンクアンケート結果について【資料3】

(4) その他【資料4、資料5】

#### 4 閉会の言葉

### 4 会議内容

#### 1 開会(略)

#### 2 あいさつ(略)

#### 3 会議事項

(1) 令和3年度 事業の中間報告について【資料1】

事務局：資料1について説明。昨年に続き、新型コロナウイルスの影響を大きく受ける結果となっている。レ・フレール公演については、3年間で4回中止となっている。レ・フレール側と協議の結果、来年度については一度計画を白紙に戻し仕切り直したいとレ・フレール側から話があり、感染状況を見ながら令和5年度以降に再度当委員会において企画検討するか諮っていきたい。

委員：レ・フレール公演を中止とした経過について、市側からの要請なのかレ・フレール側からの話だったのか。

事務局：事前にレ・フレール側と長野県が発出する感染警戒レベルに基づいた開催判断についての協議を行っており、両者合意の上で中止に至った。

委員：他所では公演を行っていると同っている。

事務局：12月に松本公演があるなど、全国各所で公演を行っているが、佐久市の基準として、100人以上を集めるイベントについては、感染警戒レベルが3以下の場合のみ開催可能としている。

委員：開催判断のタイミングは公演当日ではなく、事前に決めておくのか。

事務局：イベント開催日の2週間前を起点日としている。それ以降に感染警戒レベルが4以上となった場合はその時点で中止としている。補足として、これまでの経過で県がレベル4を発出した場合、レベルを下げるには最低でも2週間かかっていたため、開催判断を2週間前に行っている。

委員：感染警戒レベルが高い時期でも長野市や松本市では感染対策を行いながら公演を開催していた。コロナに対する地域の温度差を感じる。各自治体の考えが影響しているのではないか。

事務局：各イベントの開催判断は主催者が行っている。レ・フレール公演のような行政が行うイベントについては、市民の皆様には様々なご意見があるため、一般的に行われている公演等よりも厳しめの設定をするよう求められている。

委員：県からガイドラインは出ていないのか。

事務局：当然示されているが、市ではそれより厳しく設定している。

委員：行政の基準が、民間活動の基準となる。しかし、同じ時期に行政は中止しているが、民間は開催しており、行政と民間の開催基準に差がありすぎると感じている。コロナ禍においては致し方ないことかもしれないが、レ・フレール公演については期待感だけが高まってしまっている。市民からの期待もあるので、いずれ実現できるよう検討していただきたい。

事務局：3回目のワクチン接種や、経口薬の認可等、感染対策が進んできたところで、開催基準の再検討等を庁内で働きかけていきたい。

委員：市の執行部においてレベルや感染状況を基に各イベントの開催判断をしているというが、そこに見識・専門性を持った人の意見が反映されていない。開催を判断する場に見識・専門性を持った人がいないのであれば、その時の空気感・雰囲気が決まってしまう危うさがある。現在佐久市は杓子定規になっており、判断についての基準が明確になっていないため、早急に整理・対応すべき。

事務局：開催判断については、医療現場等を所管する部も参加している市の対策本部で決定されているが、個々のイベントの開催判断は行っていない。他市町村での開催判断や、対策等は実績として積みあがってきており、事務局としても出来るだけイベントを開催したいと考えているので、それに向けて動いていきたい。

#### (2) 令和4年度 事業計画について【資料2】

事務局：資料2について説明。

委員：ホリプロが行う北斗の拳のミュージカル版「フィスト・オブ・ノーススター」について、佐久市として何か絡みが作れないか。可能であればコスモホールに呼べないか。

事務局：原作者である武論尊氏に相談してみる。

#### (3) アーティストバンクアンケート結果について【資料3】

事務局：資料3について説明。

委員：市として登録に係る基準を明確に示せてない中で、市が管理・発信しているアーティストバンクについて市側の面識のない方を登録している状況は、あたかも市がお墨付きを与えているかのような印象を与えかねず、それについて市側も責任を持ってないことは非常に危険だと考える。いい機会ではあるので、もう一度検討していただいた上でアンケートを行う等、対応していただきたい。

委員：自分は佐久市出身、ゆかりのある方をバンクに登録し、発表の機会を創造する等、地域でアーティストを後押しすることや育てることをイメージしていた。東京出身者などを積極的に登録しては、営業のホームページになってしまう。

委員：スタートから検討し直していただきたい。

事務局：次の会議において提案させていただく。

#### (4) その他【資料4、資料5】

事務局：資料4について説明。

⇒意見質問等なし

事務局：資料5について説明。DURM TAOの公演については、現在日程等を(株)タオ・エンターテイメントと交渉中。チケット料金について(株)タオ・エンターテイメントより、例年行っている文化振興基金活用事業のような一般：3,000円、U-18：2,500円の

チケット料金設定では他の主催者とのバランスが取れないことや、DURM TAO としてのブランドに相応しくない等の理由から再検討を求められた。事務局としては、全席一律 6,500 円か資料 5 のように、座席により料金設定を分けるか検討している。

委員：すべての公演において、一律 3,000 円で設定してきたことについて、公演ごとに料金ブランドをある程度認めたいうえで、料金を設定したほうがいいのではないかと。今回の DURM TAO 公演を機に検討していただきたい。コスモホールは中ホールの分類であり、座席による料金区分けは難しい。一律価格のプラン①（全席一律：6,500 円）でいいのでは。

委員：文化振興基金の存在と、その運用益により安く見られていることを知っている方が少ないのでは。これを知らない一般の方はチケット 1 枚 3,000 円と聞くと、2 流 3 流の出演者なのかと誤解を与える可能性がある。また、出演者の評価を下げることにつながる可能性がある。

委員：安くすることだけがいいことではない。座席について、コスモホールはブロックが無いいため全席一律設定でいいのではないかと。

委員：コスモホールの場合 A～C 席はフラットであるため見づらい可能性がある。公演内容により、S 席、A 席の設定する位置を変更してもいいかもしれないが、DURM TAO 公演については全席一律でいいと考える。

事務局：DURM TAO 公演のチケット料金については、全席一律の設定で進めさせていただく。これまで行ってきた文化振興事業の中で最も高い料金設定となるので、客入り等も含めて今後の事業の検討材料とさせていただく。

⇒他に意見無し

#### 4 閉会（略）